

教育研究業績書						
日付：2025年2月22日						
氏名：重田 孝夫						
研究分野			研究内容のキーワード			
経営学			人的資源管理、組織行動、リーダーシップ、組織変革、人材育成			
授業・教育向け業績						
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1. Quality Assurance of eLearning	単著	2020年10月	ABEST21		○	新型コロナウイルス感染防止で、オンラインの授業を取り入れた大学や大学院が急速に増加した。が、授業ビデオを受動的に視聴するだけでは、教育の質を保証できない。学習目標を達成するためのEラーニングのあり方について解説した。
2. 「ジョブ型」人事へのシフトと運用の課題	単著	2020年12月	SBI大学院紀要第8号			過去には、年功序列制度の改革として職能資格制度や成果主義の導入が図られたものの、所期の目的を達成できなかった経緯があることを踏まえて、「ジョブ型」人事のあり方を整理し、どのように導入を図るとよいか、的確な運用を行うにはどうするとよいかを考察。
3. 「相手の「感情に共感」する相槌を打つ」	単著	2023年9月	支援対話研究第8号	○		1on1で相手の「感情に共感」する相槌を打っている人は少ない。「感情への共感」の相槌を打てるようになれば、コールセンターや医療機関であればNet Promoter Score（NPS）の向上、会社のマネジャーであれば360度評価診断でのスコアの改善が期待できる。
学術理論的研究業績						
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1. 「変革リーダーを発掘・育成するアクション・ラーニングの考察」	単著	2022年1月	SBI大学院紀要第9号			実際に現場でのDXプランを立案、実践・展開する中で、優れた行動を発揮し、コンピテンシーを伸ばすことができる人材を見出し、育成するのに効果があるアクション・ラーニングを考察。
2. 「How to Set Good and Effective Objectives」	単著	2023年10月	7th International Conference for Economic and Business 2023		○	The paper explains a method for successfully setting specific, measurable, and challenging goals from the perspective of performance development, rather than performance appraisal.
実務的業績						
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1. 「マーケティング分野をはじめとした生成AIのビジネスでの活用」	単独	2023年12月	日本商業学会 第13回全国研究報告会			2022年11月30日の公開からわずか1年で、ChatGPTが生成AIの新しい局面を開いた。GPT 4 Turboが2023年11月にリリースされ、ビジネスでの活用範囲が広がっている。今後の生成AIのビジネス分野での活用を展望する。
2. 「変化に対応する人事制度変革のレバレッジ」	単著	2024年1月	SBI大学院紀要第11号			アクション・ラーニング・グループを活用するなどして、生成AIの有効利用を推進することで、業務の改善やビジネスの革新を図り、業績を上げ、賃上げにつなげる変革の取組みについての考察。
3. 「生成AIパーソナルアシスタントが拓く起業の新時代」	単著	2025年1月	SBI大学院紀要第12号			各専門領域の知識を学習した生成AIを導入することで、起業家は自身が不得手とする分野でも効率的に対応できるようになり、ビジネスアイデアをより円滑に実現することが可能である。また、AIの支援により時間とリソースを節約し、より戦略的な意思決定に集中することができることを解説。